

UreyukiBox ロードマップ — いま（v1）と これから

※ 本アプリは Shopify App Store で公開中です。下記「いま（v1）でできること」は、すべて現在提供中の機能です。

将来候補に関するご案内 「これから」は検討候補であり、提供時期・順序・実装を約束するものではありません。ご契約・お申し込みのご判断は、**現在提供中の機能だけにもとづいて**行ってください。Shopify POS上の専用UIと他販路の売上取込も現在未対応で、提供時期の約束はありません。

v1 いま（App Store で公開中）でできること

① Shopify から読み取りのみで同期（商品・注文・在庫・入荷予定／毎朝1回・自動）

② 売れ行き＋安全在庫・間欠需要・51カ国の季節暦（数量は自店実績が根拠）

③ 発注数量＝補充目標－在庫－入荷予定－発注済み を自動計算

④ 在庫低下をメール／Slack／LINE でお知らせ

⑤ 適格請求書対応の注文書を下書き → PDF／CSV 出力・仕入先へメール送信

⑥ 「注文済みとしてマーク」で発注を確定（二重発注を防止）

⑦ 「発注済み・入荷」で入荷を登録（分納可）
→ 受け取った数量だけ Shopify の在庫に反映（あなたが操作したときだけ）
…翌朝また①へ（毎朝1回、自動でくり返し）

倉庫の物理オペレーション（v1 搭載済み・在庫への反映はすべて操作したときだけ）

在庫調整（理由コード付き）・棚卸し（実在庫カウント）・拠点間移動（Business）

バーコード読取（検品・棚卸し）・ラベル印刷・複数仕入先（Pro以上）

実原価・利益/仕入先レポート（Pro以上）・英語UI（7/31搭載）

Stocky 移行（4ステップウィザード・Free プランから可）

Step 1
説明を確認

Step 2
認証情報を入力

Step 3
取込みを待つ

Step 4
完了を確認

料金プラン（月額・税抜／JPY店は円固定・非JPY店はUSD固定）

Free
¥0 / \$0

Starter
¥2,980 / \$19

Pro
¥5,980 / \$39

Business
¥12,800 / \$83

有料プランは 14 日間の無料トライアル付き

将来候補（時期・実装の約束なし）**① 見える化・週次ダイジェスト**

- ・「欠品まであと何日」「売り逃し金額」
- ・1週間のまとめレポートを自動でお届け

② 拠点ごとの発注管理の本格対応

- ・拠点別の発注点と、拠点単位の注文書
- （移動はBusiness、拠点別分析はPro以上で搭載済み）

③ 純正の注文書と API 直接連携

- ・現在未提供／提供時期の約束なし
- ・2026-07 に読み取りのみ先行公開

④ 会計ソフト連携（検討中）

- ・freee・マネーフォワード・弥生 等
- ・順序・時期は未定

2026年7月31日までに搭載（旧④⑤⑥）

- ・仕入原価の精緻化（Pro以上）
- ・利益・仕入先レポート（Pro以上）
- ・英語 UI（全プラン・管理画面の言語に追従）

※通知メール／Slack／LINE も
英語に対応しました

※ 提供時期・内容は変わる可能性があります。

v1（現行・公開中）でできること

毎朝1回の自動サイクルで、発注の「気づく → 決める → 書類にする → 受け取る」までを一気通貫でお手伝いします（仕組みの詳しい図解は「05 仕組み図解」をご覧ください）。

- ・ **毎朝1回・自動**: Shopify から**読み取りのみ**で同期します（商品・注文・在庫・入荷予定）。同期が Shopify の在庫を書き換えることはありません。
- ・ **売れ行きの集計と需要予測**: 自店の販売実績から「1日あたりの販売ペース」を商品ごとに計算し、安全在庫・**51カ国の季節暦**・間欠需要を加味します。季節イベントの時期判定に1年分の履歴は不要ですが、数量は自店の販売実績を根拠とし、根拠がなければ数値提案を出しません。過去データでの精度検証（バックテスト）にも対応し、計算の内訳を画面で確認できます。
- ・ **発注数量の自動計算**: 「発注数量 = 発注点 - 今の在庫 - 入荷予定 - 発注済み」。入荷予定と発注済みを差し引くので二重発注になりません。
- ・ **お知らせ**: 在庫低下をメール／Slack／LINE でお知らせします（メールは Starter 以上、Slack・LINE は Pro 以上）。
- ・ **注文書**: 仕入先ごとに注文書を自動で下書きします（設定した仕入税率別の明細・適用される登録番号を印字し、税率0の国では税セクション非表示。単価は手入力＞Shopify原価＞目安の順）。**PDF／CSV の出力に加え、アプリ内から仕入先へ直接メール送信**でき、「注文済みとしてマーク」→入荷登録まで**アプリ内で完結**します。Shopify 純正の注文書画面へ CSV インポートで引き渡すこともできます（併用時はどちらか一方で管理）。
- ・ **倉庫の物理オペレーション**: **在庫調整（理由コード付き）・棚卸し（実在庫カウント）・バーコード読取（検品・棚卸し）・バーコードラベル印刷**に対応します。**拠点間移動はBusiness、同一SKUへの複数仕入先はPro以上**です。
- ・ **発注まわりの実務機能**: 最低発注数量（MOQ）・目標サービスレベル（統計的安全在庫）・仕入れ資金繰りカレンダー（Starter 以上）／在庫分析・セット商品（BOM）（Pro 以上）。拠点上限は Free 1、Starter 2、Pro 5、Business 無制限で、拠点間移動はBusiness限定です。
- ・ **国別税率**: 仕入税率プリセットは53カ国。US／CA／BR／HK／ID／MYは税区分名のみで率の初期値はありません。

Shopify の在庫が変わるのはどんなときか（安全設計）

毎朝の同期は**読み取りのみ**で、在庫を書き換えることはありません。Shopify の在庫数が変わるのは、**あなたがアプリ内で操作したとき**だけです。具体的には次の4つです。

1. **入荷登録**で「Shopify の在庫に反映」を選んだとき（受け取った数量だけ）
2. **在庫調整**を登録したとき（破損・紛失などの理由コードとともに記録）
3. **棚卸し**を確定したとき（実在庫カウントとの差分）
4. **拠点間の在庫移動**を登録したとき（移動元と移動先の両方）

いずれも操作の前に内容を確認できます。自動処理や同期が勝手に在庫を書き換えることはないため、**アプリを入れたせいで在庫がずれる事故は構造上起きません。**

Stocky からの移行（8月31日までのAPIコピー／9月1日以降の独立したStocky CSV取込、Free プランから可）

- 1. **Step 1** — 説明を確認する
- 2. **Step 2** — Stocky の認証情報を入力する
- 3. **Step 3** — 取り込みの完了を待つ
- 4. **Step 4** — 完了と取り込み件数を確認する

Stocky APIは2026年8月31日に停止します。期限までのAPIコピーは、仕入先、PO親と全明細、一般の在庫調整親と全明細、税区分、各レコードのAPI取得ペイロードを保存し、PO履歴から商品と仕入先の候補も復元します。販売用税区分は現行の仕入税率設定へ反映せず、現行商品への税割当も変更しません。これとは独立して、9月1日以降のStocky CSV取込は読み取り専用StockyからLow Stock、棚卸し、PO、調整、在庫・移動・原価等のCSVと、仕入先・商品条件・仕入税の利用者作成CSVを受け付けます。MOQ・Statisticsは表貼り付けにも対応します。CSV原本、MOQ・Statisticsの貼り付け原文、取得条件、解析可能な正規化行は「Stockyデータ」の6分類で閲覧・検索・CSV/PDF出力でき、プラン対象外の汎用正規化行はサーバー側で実値を返しません。APIやCSVに無いNotes、仕入先メモ、発注書メモなどは手動メモと証跡添付で残せます。当方原因でAPIコピーが完遂できなかった場合は移行直後の請求月を返金します（独立したStocky CSV取込とMOQ・Statisticsの表貼り付けは対象外）。

※ **Stocky を使っていなかったストアには、この移行ステップ自体が不要です。** インストールして在庫を同期するだけで、発注点の設定から注文書の作成までそのまま使い始められます。

料金プラン

プラン	JPY / 非JPY請求店	商品数 / 拠点数上限
Free	¥0 / \$0	100 / 1
Starter	¥2,980 / \$19	1,000 / 2
Pro	¥5,980 / \$39	10,000 / 5
Business	¥12,800 / \$83	無制限 / 無制限

Free（無料）でも手動の注文書（インボイス対応）・在庫の見える化・Stocky 移行まで使えます。発注数量の自動計算・発注点管理・予測からの自動下書き・毎朝のメール通知は Starter 以上、Slack／LINE 通知は Pro 以上です。

有料プランは 14 日間の無料トライアル付き。Shopifyへの請求通貨がJPYの店は表の円額、非JPYの店は表のUSD額で固定請求されます。価格は 2026-08-27 時点です。

将来候補（提供時期・実装の約束なし）

以下は現在未提供の検討候補です。提供時期・順序・実装を約束するものではありません。

「いま（v1）はどうしているか」とあわせてご覧ください。現在提供中の機能だけを前提にご判断ください。

#	これからの内容	いま（v1）はどうしているか	状態
①	見える化・週次ダイジェスト — 「欠品まであと何日」「売り逃し金額」の表示／1週間のまとめ	ダッシュボードと個別通知を提供中	将来候補・時期未定
②	拠点別発注点・拠点単位の注文書	配送先・分析はプラン上限内、拠点間移動はBusiness。発注点は商品単位	将来候補・時期未定
③	Shopify 純正注文書とのAPI直接連携	現在はCSVインポートで連携	将来候補・時期未定
④	会計ソフト連携	注文書はPDF／CSVで出力し、会計側へ手動取込	将来候補・時期未定
⑤	Shopify POS専用UI／他販路の売上取込	未対応	提供時期の約束なし

※ **以前ロードマップに掲げていた次の項目は、v1 に搭載済みです**： 間欠需要への対応・バックテスト／仕入先への注文書メール送信／バーコード検品・棚卸し／在庫調整／拠点間の在庫移動（Business）／同一SKUへの複数仕入先・**仕入原価の精緻化（landed cost）**・**利益レポート**・**仕入先レポート**（この3つはPro以上）／**英語 UI**。販売実績のない新商品へ数量を提案する機能は公開UIでは提供していません。

2026年7月に搭載された項目（旧ロードマップ④⑤⑥）

旧番号	内容	いまの状態
④	仕入原価の精緻化（landed cost） — 送料・関税・その他の諸掛を明細へ按分し、1個あたりの実原価を出す	搭載済み （Pro 以上）。配分は金額比／数量比を選べます。🔴 実原価は 表示のみ で、商品の原価には書き戻しません（明細を編集した瞬間に古くなるため）

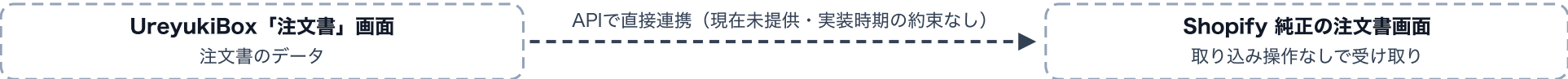
旧番号	内容	いまの状態
⑤	利益レポート・仕入先レポート — 商品別の粗利、仕入先別の発注実績・平均リードタイム・納期の遵守率	搭載済み （Pro 以上）。期間を指定して表示します。 ● 原価が未設定の明細と売上が未同期の明細は 集計から除外し、その件数を画面に出します （原価未設定を粗利100%として混ぜないため）。原価は「現在の設定値」を使うため、過去の確定利益ではありません
⑥	英語 UI — アプリ画面・帳票の英語対応	2026年7月31日に搭載済み 。Shopify 管理画面の表示言語に自動で追従します（英語の管理画面なら英語で表示）。発注書 PDF・バーコードラベル・CSV も英語になります。 通知メール・Slack・LINE・仕入先宛の発注書メールも同日から英語に対応しています ＝こちらは管理画面の言語ではなく ストアの所在国 で決まります。サポートは日本語・英語

補足図 — Shopify 純正の注文書との連携（いま／これから）

いま（v1） — CSVインポートでの連携（純正画面での取り込み操作）



将来候補（提供時期の約束なし） — APIでの直接連携



※ 現在提供中の連携はCSVです。API直接連携の実装・時期は約束していません。

本資料の数値・プランは 2026-08-27 時点です。v1 の仕組みの詳しい図解は「05 仕組み図解」を、比較の根拠と出典（URL・確認日）は「02 比較表」の脚注をご覧ください。